

# 不安を抱える女性を対象とした支援【京都市】

総事業費	10,637 千円
交付金額	7,478 千円

## 地域の実情と課題

**【現状】**  
 ・コロナ感染拡大以降、無償労働(家事・育児・介護)時間が平均的に増加したが、特に有配偶女性で増加した人の割合が高かった(32.5%)。また、特に6歳未満の子どもの同居している女性において「負担が増えている」と回答した割合が高かった(女性32.7%、男性14.6%)。  
 ・コロナ感染拡大以降、家庭外との接触の制限によって「健康や精神的に不安(孤立感など)を感じている」と回答した割合が、男性に比べ、女性が高かった(有配偶女性30.3%、無配偶女性33.2%、有配偶男性21.9%、無配偶男性20.0%)。

**【課題】**  
 内閣府において公表された「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」において、増加している女性の自殺の原因として、経済生活問題、勤務問題、DV被害や育児の悩み、介護疲れや精神疾患などの問題があるとの指摘がなされ、本市において、対象者への早急な支援が求められている。

## 目的・目標

**【目的】**  
 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりの回復を目的として、相談支援等を継続するとともに、当該相談支援等につなげるためのきっかけとして、SNS広告を若年女性を対象に実施する。

**【目標】**  
 ① 拡充した相談窓口で受け付けた相談件数 240件⇒233件 (目標達成度:97%)  
 ② 居場所の参加者数 300名 ⇒ 66名 (目標達成度:22%)  
 ③ SNS広告の総クリック数 1,000回 ⇒ 2,064回 (目標達成度:206%)  
 ④ 就業支援講座を案内した人数 100名 ⇒ 182名 (目標達成率:182%)

## 事業の特徴

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりの回復を目的として、相談支援等を行うとともに、当該相談支援等につなげるためのきっかけとして、SNS広告を実施する。

① 相談事業の継続  
 「京都市男女共同参画センター」において設置している、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活や仕事などが大きな影響を受け、孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性を対象とした相談窓口を継続する。相談対応では、心理面での寄り添ったサポートを行うとともに、状況に応じて、生活困窮者自立相談支援事業、京都市DV相談支援センター等、必要な相談窓口の情報提供を行う。

② 居場所づくりの実施(ピアサポート)  
 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活や仕事などが大きな影響を受け、孤独・孤立で不安や困難・課題を抱える女性を対象とした居場所づくり事業(ピアサポート)を実施する。

③ 女性向け就業支援セミナー  
 講座を通じて、様々な課題・困難を抱える女性が自立生活を行い、就業意欲を向上させるとともに、既存の女性の就業支援につなぐ。

## 連携団体

<「輝く女性応援京都会議」構成団体>  
 京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、21世紀職業財団関西事務所、京都市男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

<その他>  
 NPO法人、社会福祉法人等 (ひとり親支援を行う団体、障害者支援を行う団体 等)

## 事業の効果

コロナ禍で不安を抱える女性のみを対象とした相談窓口を継続し、相談窓口の周知のため、SNS広告を活用し、多くの人々に相談窓口の周知を行うことができた。居場所づくりについては、昨年把握した課題に対応し、対象をひとり親女性と、いわゆるZ世代と呼ばれる若年女性に絞って行った。満足度は高く、事後に行ったアンケートでも、好意的な意見が多く目立った。一方で、来年度以降は今回対象としたひとり親女性と若年女性のほかにも、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた層への事業の拡大を目指す。

## 今後の課題

これまで相談できていなかった人が相談につながるよう、相談窓口の周知について工夫していく。また、相談者の相談内容や居場所づくりの参加者の声を聞き取り、よりニーズに沿った居場所を提供できるように取り組んでいく必要がある。

これまで対象をひとり親女性と若年女性に絞って事業を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きな影響を受けた女性は、それだけにとどまっておらず、新しくほかの層に対する支援事業が必要である。

# 事業の概要①

## ■相談事業の継続(「つながる相談室」)

内 容

「京都市男女共同参画センター」に設置している新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活や仕事などが大きな影響を受け、孤独・孤立で不安や困難・課題等を抱える女性を対象とした相談窓口を継続した。

相談手法は、電話相談、面接又はオンライン相談とした。さらに、面接相談者に対しては、必要に応じて、行政相談員等、特に経済的な行政支援に精通したケースワーカーを同席させ、適切な施策利用についての助言等を行った。

相談員には、精神保健福祉士等の有資格者を起用し、相談事業の開始に先立って、専門家による研修を受講させ、心理面での寄り添ったサポートを行うとともに、状況に応じて、生活困窮者自立相談支援事業、京都市DV相談支援センター等、必要な相談窓口の情報提供を行った。

SNS広告を利用することで、若年層を意識した広報活動を行い、相談事業そのものの周知に努めた。

相談件数 233件

### 【実施したSNS広告】

InstagramとTwitterにて京都市内在住の29歳以下の女性に対し、広告配信を実施。

- 実施期間：令和4年7月29日～令和4年9月15日まで
- Instagramクリック数：892回 クリック率：0.13%
- Twitterクリック数：1,172回 クリック率：0.13%

## 事業の概要②

### ■居場所づくりの実施(ピアサポート)「つながるスペース」

開催日時	第1回 令和4年10月16日(日) 第2回 令和4年11月5日(土) 第3回 令和4年12月11日(日) 第4回 令和4年12月18日(日) 第5回 令和5年3月16日(木)～3月26日(日)※水曜休館
会場	京都市男女共同参画センター ウィングス京都
参加者数	のべ66名
内容	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活や仕事などが大きな影響を受け、孤独・孤立で不安や困難・課題等を抱える女性を対象とした居場所づくり事業(ピアサポート)を実施した。当該事業は、孤独、孤立で不安を抱える女性が集い、参加者が相互に支え合い、社会とのつながりを回復するための場となるよう取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 ひとり親女性のためのリフレッシュ! コットン手芸教室 講師: 山田由紀子氏(布おもちゃ布絵本作家)</li> <li>第2回 出張mama*cafe ひとり親女性のためのマネーセミナー 講師: 秋口千佳氏(夢のかけはし株式会社代表取締役 NPO法人日本FP協会CFP®認定者・1級ファイナンシャル・プランニング技能士)</li> <li>第3回 困っていることは何ですか? ひとり親女性のためのお悩み相談会</li> <li>第4回 若年女性のための居場所 7colors,7wills, カラーメイクアップワークショップ モデレーター: NaNatural(ナナチュラル) サポート: 一般社団法人京都わかさねっと/公益財団法人京都YWCA 生理用品・生活用品の提供: NPO法人お客様がいらっしゃいました。</li> <li>第5回 【展示】 身近な若年女性のために～「安心」につながる京都の支援～ 展示内容: <ul style="list-style-type: none"> <li>団体紹介(京都市内をイラスト化した地図に、団体の主な活動場所・所在地をマッピングと番号で連動して紹介)</li> <li>情報コーナー(団体のパンフレットや配布物を提供)</li> <li>暴力等のリスクや相談先に関する情報提供</li> <li>来場者参加型 メッセージボードの設置</li> </ul> </li> </ul>



## ■居場所づくり「つながるスペース」ひとり親支援の関係団体の情報交換会

開催日時	令和4年12月11日（土）
会場	京都市男女共同参画センター ウィングス京都
参加団体	○一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす ○社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘こもれび ○京都市ファミリーサポートセンター ○公益財団法人京都市男女共同参画推進協会 京都市男女共同参画センター
内容	ひとり親支援を行う各団体のそれぞれの課題について共有するための情報交換会を行った。 いずれの団体においても、ひとり親のニーズの共有が不十分であることを課題としており、 今後、情報共有のシステム構築を目指していく。

## ■居場所づくり「つながるスペース」勉強会兼交流会 「女性×アディクションの視点で考えるこれからの居場所&ともにある支援」

開催日時	令和5年3月9日（木）
会場	京都市男女共同参画センター ウィングス京都
参加団体	○ 東山母子生活支援施設 ○ NPO法人わくわく ○ 公益財団法人 京都市ユースサービス協会 ○ NPO法人 コミュニティ・スペースsacula ○ 京都市男女共同参画センター ウィングス京都 相談室 ○ 一般社団法人 京都わかくさねっと ○ 公益財団法人 京都YWCA ○ KYOTO SOCOPE ○ 京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」
内容	若年女性のアディクションにかかわる講演を聞き、 その後各団体の活動について共有したのちに、それぞれの意見交換を行った。 【ゲストトーク】 大嶋 栄子 氏（特定非営利活動法人リカバリー）

# 事業の概要③

## ■心としごとの準備セミナー(ひとり親コース・Z世代コース)

開催日時	第1回 令和4年10月14日(金) 第2回 令和4年10月20日(木) 第3回 令和4年10月27日(木) 第4回 令和4年11月10日(木) 第5回 令和4年11月17日(木)
会場	京都市男女共同参画センター ウィングス京都
参加者数	のべ39名
内容	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活や仕事などが大きな影響を受け、孤独・孤立で不安や困難・課題等を抱える女性を対象とした就業支援事業を実施した。当該事業は、孤独、孤立で不安を抱える女性が集い、就業のためにどのような準備を行うことが必要かについて理解を深めることを目的とした。</p> <p>第1回 聴き方を習得してコミュニケーションを円滑に(コミュニケーション1) (ひとり親コース・Z世代コース共通)</p> <p>第2回 体と心を整えて健康に(セルフマネジメント) (ひとり親コース・Z世代コース共通)</p> <p>第3回 仕事に役立つ電話対応を学ぶ(就業スキル)(ひとり親コース) ビジネスマナーを学ぶ(就業スキル)(Z世代コース)</p> <p>第4回 上手に気持ちを伝えてコミュニケーションを円滑に(コミュニケーション2) (ひとり親コース・Z世代コース共通)</p> <p>第5回 自分自身に目を向けてみよう(マインドフルネス) (ひとり親コース・Z世代コース共通)</p> <p>講師：本多真理子氏(キャリアコンサルタント、マナー講師) 植野和美氏(キャリアコンサルタント、公認心理士) 村井加代子氏(バレエ・ヨガ・英会話講師)</p>

